

二級水系流域治水プロジェクト（案） について

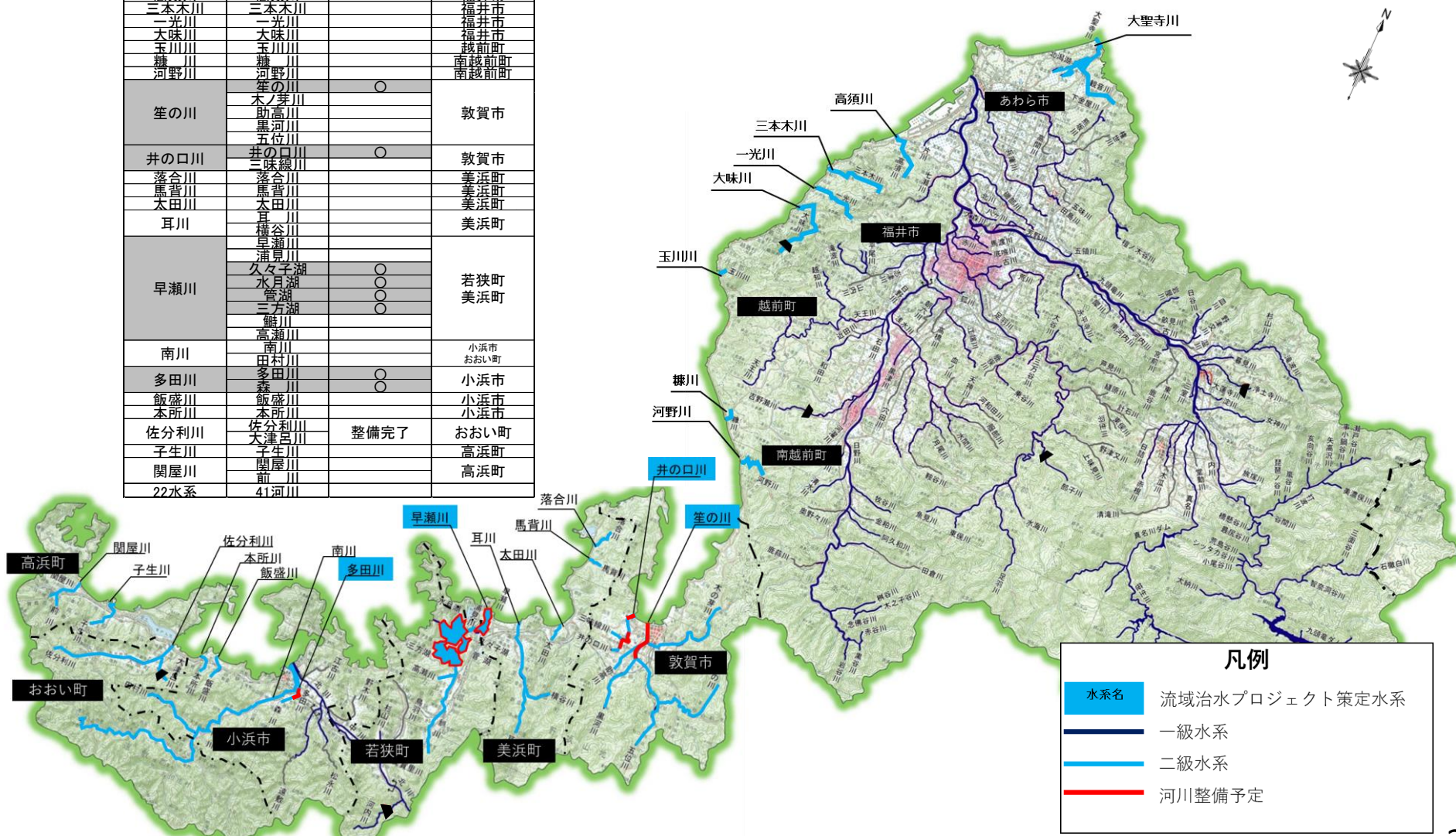
令和4年3月23日

福井県二級水系流域治水協議会

流域治水プロジェクトの対象水系

- 令和3年度は、**河川整備計画に基づき河川整備を実施または予定している水系**を流域治水プロジェクトの対象とします。（筈の川水系、井の口川水系、早瀬川水系、多田川水系）

水系名	河川名	河川整備計画に基づき河川整備予定	流域内市町
大聖寺川	大聖寺川		あわらし市 (石川県加賀市)
	北湯湖		
	観音川		
	高須川		
高須川	高須川		福井市
三本木川	三本木川		福井市
一光川	一光川		福井市
大味川	大味川		福井市
玉川	玉川		越前町
糠川	糠川		南越前町
河野川	河野川		南越前町
筈の川	筈の川	○	敦賀市
	木ノ芽川		
	助高川		
	黒河川		
井の口川	井の口川	○	敦賀市
	三味線川		
落合川	落合川		美浜町
馬背川	馬背川		美浜町
太田川	太田川		美浜町
耳川	耳川		美浜町
	榎谷川		
早瀬川	早瀬川	○	若狭町 美浜町
	浦見川		
	久々子湖	○	
	水月湖	○	
	管湖	○	
南川	三方湖		美浜町
	鏡川		
高瀬川	高瀬川		美浜町
	高瀬川		
南川	南川		小浜市
おおい町	おおい町		小浜市
多田川	多田川	○	小浜市
飯盛川	飯盛川		小浜市
本所川	本所川		小浜市
佐分利川	佐分利川	整備完了	おおい町
大津呂川	大津呂川		おおい町
子生川	子生川		高浜町
関屋川	関屋川		高浜町
前	前		高浜町
22水系	41河川		



凡例

- 水系名 流域治水プロジェクト策定水系
- 一級水系
- 二級水系
- 河川整備予定

○昭和40年9月台風24号などで甚大な被害が発生した笹の川・井の口川水系では、気候変動による今後の水害リスクの増大に備えて、以下の取組を実施していくことで、年超過確率規模*の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



※確率規模
 笹の川：河口～木の芽川合流点 1/50
 木の芽川合流点～黒河川合流点 1/30
 井の口川：河口～安堵橋 1/50
 よんこく
 四石橋上流～大瀬川合流点 1/50

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河道掘削、河道拡幅、河川浚渫
 - ・森林整備
 - ・砂防関係施設の整備
 - ・下水道施設の整備・更新
 - ・田んぼダムの整備
 - ・ため池の事前放流
 - ・雨水貯留浸透施設の整備 等

- 被害対象を減少させるための対策
- ・立地適正化計画に基づく防災指針の策定 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・複数市町を含む流域を捉えた流域タイムラインの作成
 - ・想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップの周知・活用
 - ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
 - ・避難行動のための情報発信
 - ・重要水防箇所の情報共有と県・市・地元による共同点検の実施
 - ・要配慮者利用施設の避難訓練実施と避難確保計画の検証と改善の促進
 - ・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
 - ・水位計・量水標、監視カメラ設置
 - ・地域防災マップの作成支援
 - ・水防資機材の配備
 - ・地域・企業の連携による避難場所の確保
 - ・コミュニティタイムラインの作成支援
 - ・ハザードマップ・タイムラインを用いた避難訓練の支援
 - ・関係者間の情報共有体制の確立と情報伝達訓練の実施
 - ・内水ハザードマップの作成 等

- グリーンインフラの取り組み
- ・小学校で稚鮎等の放流体験による河川環境学習
 - ・イサザ、鮎等生態系に配慮した河川工事 等



凡例

- 河道掘削・河道拡幅等
- 排水施設
- 砂防関係施設
- ▲ 治山施設
- 流域界
- 市町境界
- ▲ 河川カメラ
- 水位計

*具体的な対策内容については、今後の調査・検討などにより変更となる場合があります。

- 笙の川、井の口川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】井の口川上流部の河道掘削・河道拡幅や本支川の河川浚渫等により、河積断面を確保し災害発生を防ぐ。
 - 【中期】笙の川河口部の河道掘削および下水道ポンプ施設更新により、市街地での災害発生を防ぐ。
 - 【中長期】笙の川の整備計画や下水道の雨水幹線整備が完了することにより、流域全体の安全性向上を図る。
- あわせて、監視カメラ画像、水位情報の提供や浸水想定区域図、ハザードマップの更新等のソフト対策を実施する。

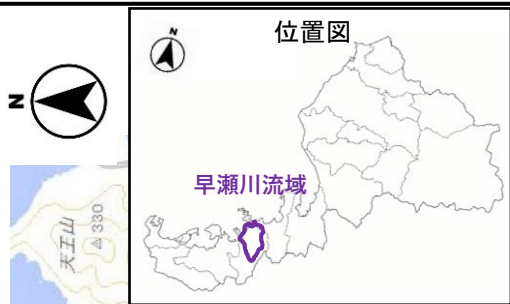
区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備 (河道掘削・河道拡幅・導流堤)	福井県 敦賀市	河道拡幅完成(虎谷川) 河道掘削・河道拡幅完成(井の口川)	河道掘削完成(笙の川)	河道拡幅完成(笙の川)
	森林整備	福井県 敦賀市 れいなん森林組合 森林整備センター等	治山ダム完成		
	砂防関係施設の整備	福井県	砂防堰堤完成	(検討・調整)	
	下水道施設の整備、更新 雨水貯留浸透施設の整備	敦賀市		ポンプ場更新完成	雨水幹線整備完成
	田んぼダムの整備・ため池の事前放流	福井県 敦賀市		(検討・調整)	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく防災指針の策定	敦賀市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座 水防資機材の配備	福井県 敦賀市			
	関係者間の情報共有体制の確立 地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援	敦賀市			
	ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援			防災マップ作成完了	
グリーンインフラの取組	小学校で稚鮎等の放流体験による河川環境学習 イサザ、鮎等生態系に配慮した河川工事	福井県 敦賀市			

■河川整備
事業費：約90億円※
対策内容：河道掘削、河道拡幅等
※河川整備計画の残事業費

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

○平成25年9月台風18号などで、甚大な被害が発生した早瀬川水系では、気候変動による今後の水害リスクの増大に備えて、以下の取組を実施していくことで、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・湖岸堤、放水路、河川浚渫、堤防強化
- ・森林整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・田んぼダムの整備
- ・ため池の事前放流
- ・雨水貯留浸透施設の整備 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・複数市町を含む流域を捉えた流域タイムラインの作成
- ・想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップの周知・活用
- ・市町を超えた広域避難計画の検討
- ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
- ・避難行動のための情報発信
- ・重要水防箇所の情報共有と県・町・地元による共同点検の実施
- ・要配慮者利用施設の避難訓練実施と避難確保計画の検証と改善の促進
- ・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
- ・水位計・量水標、監視カメラ設置
- ・地域防災マップの作成支援
- ・水防資機材の配備
- ・地域・企業の連携による避難場所の確保
- ・コミュニティタイムラインの作成支援
- ・ハザードマップ・タイムラインを用いた避難訓練の支援
- ・関係者間の情報共有体制の確立と情報伝達訓練の実施
- ・内水ハザードマップの作成 等

● グリーンインフラの取組み

- ・ヨシ原等水際部の植生環境の再生に配慮した河川工事
- ・小中学校で川の生き物調査等による河川環境学習
- ・浅場造成によるシジミの生育環境の再生 等



森林整備
(流域内各地)

湖岸堤

若狭町

山腹工

- 凡 例**
- 湖岸堤・河川浚渫等
 - ⋯ 放水路
 - 砂防関係施設
 - ▲ 治山施設
 - 流域界
 - 市町境界
 - ▲ 河川カメラ
 - 水位計

放水路

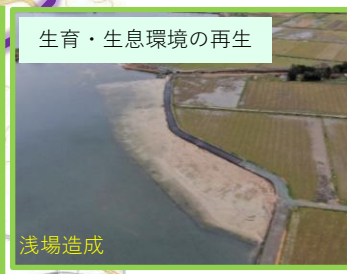
砂防堰堤



放水路計画位置



河川環境学習

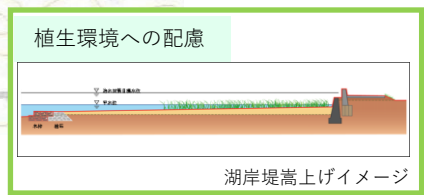


生育・生息環境の再生

浅場造成



H25.9浸水状況



植生環境への配慮

湖岸堤高上げイメージ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討などにより変更となる場合があります

- 早瀬川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 本支川の河川浚渫により、河積断面を確保し災害発生を防ぐ。また、地域防災マップの作成や要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施を促進・支援することで、災害時の危険箇所や避難計画を住民に浸透させて被害を軽減する。
 - 【中期】 水月湖から日本海への放水路整備により、三方五湖の水位上昇に伴う浸水被害を防止する。
 - 【中長期】 流域治水対策効果を確認しながら、流域全体で河川対策、減災対策等を引き続き実施する。
あわせて、監視カメラ画像、水位情報の提供や浸水想定区域図、ハザードマップの更新等のソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	湖岸堤・放水路・堤防強化	福井県	湖岸堤・放水路完成		
	森林整備等	福井県 若狭町 れいなん森林組合 森林整備センター等	山腹工完成		
	砂防関係施設の整備	福井県	砂防堰堤完成	(検討・調整)	
	雨水貯留浸透施設の整備	若狭町 美浜町	(検討・調整)		
	田んぼダム・ため池の事前放流	若狭町	(検討・調整)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座 水防資機材の配備 関係者間の情報共有体制の確立	福井県 若狭町 美浜町			
	地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援 ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	若狭町 美浜町	防災マップ作成完了		
グリーンインフラの取組	ヨシ原等水際部の植生環境の再生に配慮した河川工事 小中学校で川の生き物調査等による河川環境学習 浅場造成によるシジミの生育環境の再生	福井県 若狭町 美浜町			

■河川整備
事業費：約50億円※
対策内容：放水路等
※河川整備計画の残事業費

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある

～小浜市の主要河川と一体となって流域治水対策を推進～

○昭和40年9月台風24号などで、甚大な被害が発生した多田川水系では、気候変動による今後の水害リスクの増大に備えて、以下の取組を実施していくことで、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河道掘削、河道拡幅
 - ・森林整備
 - ・砂防関係施設の整備
 - ・田んぼダムの整備
 - ・雨水貯留浸透施設の整備 等

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・立地適正化計画に基づく防災指針の策定 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・複数市町を含む流域を捉えた流域タイムラインの作成
 - ・想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップの周知・活用
 - ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
 - ・避難行動のための情報発信
 - ・重要水防箇所の情報共有と県・市・地元による共同点検の実施
 - ・要配慮者利用施設の避難訓練実施と避難確保計画の検証と改善の促進
 - ・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
 - ・水位計・量水標、監視カメラ設置
 - ・地域防災マップの作成支援
 - ・地域・企業の連携による避難場所の確保
 - ・水防資機材の配備
 - ・コミュニティタイムラインの作成支援
 - ・ハザードマップ・タイムラインを用いた避難訓練の支援
 - ・関係者間の情報共有体制の確立と情報伝達訓練の実施
 - ・内水ハザードマップの作成 等

- グリーンインフラの取り組み
 - ・ゲンジボタル、メダカ等水際の生物多様性を維持 等



凡例

— (赤線)	河道掘削・河道拡幅等
— (紫線)	流域界
■ (緑)	水位計

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討などにより変更となる場合があります

- 多田川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 多田川の河道掘削・河道拡幅により、河積断面を確保し災害発生を防ぐ。また、地域防災マップの作成や要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施を促進・支援することで、災害時の危険箇所や避難計画を住民に浸透させて被害を軽減する。
 - 【中期・中長期】 流域治水対策効果を確認しながら、流域全体で河川対策，減災対策等を引き続き実施する。あわせて、水位情報の提供や浸水想定区域図，ハザードマップの更新等のソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工 程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備（河道掘削・河道拡幅）	福井県	河道掘削・河道拡幅完成(多田川)		
	森林整備	福井県 小浜市 れいなん森林組合 森林整備センター等			
	砂防関係施設の整備	福井県	(検討・調整)		
	雨水貯留浸透施設の整備	小浜市	(検討・調整)		
	田んぼダムの整備	小浜市	(検討・調整)		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく防災指針の策定	小浜市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラ画像、水位情報の提供	福井県			
	防災に関する出前講座	福井県			
	水防資機材の配備	福井県 小浜市			
	関係者間の情報共有体制の確立 地域防災マップの作成、要配慮者利用施設の避難訓練実施の支援 ハザードマップ等を用いた避難訓練の支援	小浜市	防災マップ作成完了		
グリーンインフラの取組	ゲンジボタル、メダカ等水際の生物多様性を維持	福井県 小浜市			

■河川整備
事業費：約20億円※
対策内容：河道掘削、河道拡幅
※河川整備計画の残事業費

気候変動を踏まえた更なる対策を推進